

☆☆
キレイなおうち、
♡♡ ステキな毎日



「グループピング」とは？



同じ仕事をする仲間を頻度・場所・所有する人別などにグループ分けし、その仲間ごとにとめること

LESSON
02

子どものお片づけを手伝う

「新しい家に引っ越して、収納がうまくいかない」とSOSを受けることがあります。そんなときは直接伺い、アドバイスしますが、中には小さなお子さんがいるご家庭も。そこでよく聞くセリフがあります。「うちの子、全然片付けてくれなくて…」。学校や幼稚園、保育園ではお片づけができるのに、家ではできないと言うのです。なぜでしょうか？

家と学校の違いを考えると、私は大きく2つ理由があると思います。

- ①家のほうがモノ(子ども自身の持ち物)が多い
 - ②学校はモノをしまふ場所が決まっている
- ということは、学校同様、家でも片づけの仕組みをつくってあげれば、お子さんも片づけやすくなるに違いありません。

☆☆☆

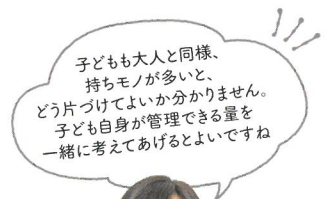
そこで私がお勧めするのが、持ち物の責任の所在を明確にする、人別のグループピング方法です。

まず、お子さん別にラベリングしたボックスや引き出しなどを用意します。そして「自分のモノは

ここにに入れてね」などと、子どもでも無理なくできそうな範囲で約束します。

この約束の決め方がポイントで、たとえ中がぐちゃぐちゃでも、初めの約束は守っていますからOKです。もしも整頓してほしいければ、約束する時にそのことも伝え、整頓方法を一緒に考えてあげるとよいでしょう。子どもの片づけを考える際はハードルを下げ、子どもができる方法に合わせることが大切。ぜひ、子どもの「できた! やれる!」を応援するところから始めてみてくださいね。

わが家にも2人の娘がいて、子どものころは各自しまふ場所を決め、寝る前には必ず床の上に自分のモノがないか確認させるなど、辛抱強く取り組みました。中学生になると、勉強部屋は本人たちに任せただけ心配した時期もありましたが、先日、社会人となった長女の家を訪ねると、暮らしが整っていて、狭いながらも使いやすく工夫された収納方法にとっても驚きました。「整理されていると自分が快適だから」と言った娘の言葉が心に染みわたるは言うまでもありません。



プロフィール
米村 大子
YONEMURA HIROKO

整理収納アドバイザー1級、住宅収納スペシャリスト認定講師・宅地建物取引士。現在、「おうちスタイリスト®」として、モデルハウス・個人宅の間取りや収納の提案を行うほか、テレビやラジオにも多数出演。住宅・リフォーム関係のイベントや幼稚園・小学校などの講演・マイホームセンターの収納コラムも担当。個人のお客さま向けの「訪問お片づけサービス・お片づけ講座」も好評開催中。

おうちスタイリスト米村大子officialサイト
<http://www.kurashi-kata.com/>